

単元名

生き物助け合いQ&Aカード

～共生している生き物について、原っ子にカードで紹介しよう～

「ヤドカリとイソギンチャク」(東京書籍)

平成29年6月22日

男子9人 女子13人

計22人

本単元で育成する資質・能力

論理的思考力・判断力・表現力 (資質・能力ルーブリックレベルⅢ)

1 単元について

I : 【考え・基礎知識】

段落と段落の結び付きを捉えながら教材文を読み、ヤドカリとイソギンチャクが共生することの利益をそれぞれまとめる。

C : 【つながり】

学んだことを活用して、共生している生き物の「Q&Aカード」を書く。

E : 【応用・ひろがり】

「Q&Aカード」を校内(読書室・掲示板)に掲示し、原っ子に紹介し、質問などに答える。

児童の実態

- ★ 自分の考えを明確にし、そのことを中心にして簡潔にまとめる力が十分でない。 -①
- 昨年度の標準学力調査の説明的な文章の読解に係る設問では、全国平均を上回っているが、他の領域と比較すると正答率が低い。 -②
- 目的をもって読書し、本や文章から必要な情報を取り出すことが十分でない。 -③

育成を目指す資質・能力と目標 ★資質・能力 ○国語科◎国語科重点目標

- ★ 複数の事柄や資料などについて、自分で視点を設けて比較、分類、関連付けてまとめて表現することができる。【論理的思考力・判断力・表現力 ルーブリック レベルⅢ】
- ヤドカリとイソギンチャクの関係に興味をもって読み、自然に生きる生き物が互いに助け合っているということを考えようとしている。【国語への関心・意欲・態度】
- 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むことができる。【読むこと イ】
- ◎ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを要約することができる。【読むこと エ】
- 指示語や接続語が文と文の意味のつながりに果たす役割を理解し、使うことができる。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ク)】

教材について

- 「序論」「本論」「結論」の構成や段落相互の関係が分かりやすく、「本論」は三つの「問い」と「答え」から構成されている。
→ 文章構成が理解しやすく、意味段落を見付けやすい。
- 段落のはじめに段落間のつながりがわかる接続語が使われている。
→ 「まず」「次に」「実は」「では」等の言葉から、段落相互のつながりがとらえやすい。
- ヤドカリとイソギンチャクが共生する利益が双方の側から述べられている。
→ お互いに助け合って共生していることが理解しやすい。

パフォーマンス課題とその特徴

クラスでイソギンチャクを飼育している体験と関連付けて、「共生している生き物について、原っ子にQ&Aカードで紹介する」という活動を設定する。教材文に出てくる三つの「問い」と「答え」の関係を理解し、それぞれの話題をとらえて見出しを付ける活動を取り入れる。見出しを付ける際には、各段落の中心となる語や文をとらえて、要点をまとめる必要がある。そうすることで、段落相互の関係をとらえ、目的や必要に応じて文章を要約する力をつけることができる。また、教材文で学んだ知識や「要約のコツ」を使って、自分で調べた共生している生き物についてカードにまとめるという学習過程で、本単元で付けたい資質・能力を確実に育成できると考える。

指導のポイント

- ① 共生に関する段落のキーワードや大切な言葉は何かを意識させ、接続語や文末表現を意識しながら、意味段落ごとに見出しを付けていく活動を取り入れ、内容を整理し、簡潔にまとめられるようにする。
- ② 「序論」「本論」「結論」の三つの構成から、教材文を五つのまとまりに分け、共生、「問い」と「答え」という視点から文章全体の段落相互の結び付きや、本文に書かれているヤドカリとイソギンチャクの関係をとらえることができるようにする。
- ③ 並行読書を取り入れ、高学年に共生している生き物について紹介するという相手・目的意識をもたせ、本や文章を読むという必然性をもたせる。

2 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○ 生き物の関係に興味をもち、助け合いの関係を考えたり、分かりやすくQ&Aカードにまとめたりしようとしている。	○ 紹介したい生き物を選び、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を意識して読んでいる。 (イ) ◎ 目的や必要に応じて、助け合いの関係に注意しながら本を読み、文章の要約をつかみ、Q&Aカードにまとめている。 (エ) ★論理的思考力・判断力・表現力	○ 教材文を読み、指示語や接続語が文と文や段落相互の关系到果たす役割を理解している。 イ(ク)

3 単元の計画 (全 10 時間)

次	時	学 習 内 容	評 価		
			関 読	言	
単元前		(学級活動) 課題の設定 (特) ・ 理科専科の先生からイソギンチャクを育てることを頼まれ、イソギンチャクの世話をする。 →イソギンチャクについてもっと詳しく知りたい。			○教科の評価規準 (評価方法) ★資質・能力の評価規準 (評価方法)
					イソギンチャクって全然動かないね。触手が開いたり閉じたりするよ。 当番活動を決めて、世話したり、観察したりしよう。 全然動かないけど、海に住んでいるイソギンチャクはどうやって餌をとるのかな。 イソギンチャクについてもっと知りたいな。
第一次	1	課題の設定 (国) ・ 原っ子に、どのようにして共生している生き物を紹介するかを考え、教師自作の「Q&Aカード」を見て、活動の見通しをもち、学習の計画を立てる。 ・ 教材文の範読を聞いて、初発の感想や疑問等を書く。	○	○	○ 高学年に共生する生き物を紹介するために、「生き物助け合いQ&Aカード」を作る活動に関心をもち、進んで取り組もうとしている。(児童観察) ○ ヤドカリとイソギンチャクについて、感想や疑問等を書いている。(ノート・児童観察)
第二次	2	情報の収集 1 ・ 「序論―本論―結論」に着目し、文章が5つの意味段落に分かれることをとらえる。	◎	○	◎ 段落相互の関係を考え、教材文全体を三つのまとまりに分け、さらに三つの問いと答えを見つけ出し、教材文全体を五つのまとまりに分けている。(ノート・児童観察)
	3	・ Q&Aカードを作るために、必要な段落を見付ける。【本時】	○	○	○ 「問い」と「答え」を表す語句や、話題を変える語句に着目しながらまとまりをとらえている。(ノート) ○★ 共生、「問い」と「答え」という視点から、ヤドカリとイソギンチャクの助け合い(利益)に関わる段落を見付けている。 【論理的思考力・判断力・表現力】(ノート・児童観察)
	4	・ ヤドカリとイソギンチャクのそれぞれの利益をQ&Aカードにまとめる。	○	○	○★ ヤドカリが貝殻にイソギンチャクを付ける利益と、イソギンチャクがヤドカリの貝殻に付く利益をQ&Aカードにまとめている。 【論理的思考力・判断力・表現力】(ノート・児童観察)
	5	・ 「ヤドカリとイソギンチャク」の段落相互の関係をまとめる。	○	○	○ 段落相互の関係をとらえ、文章構成図にまとめている。(ノート・児童観察)
	6	情報の収集 2 ・ 共生している生き物のそれぞれの利益を調べる。	○	○	○ Q&Aカードを作るために、共生している生き物についてまとめた本や文章を選んで読み、必要なことを書き出している。(ノート・児童観察)
	7	整理・分析 ・ ミツアナグマとミツオシエが、共生することのそれぞれの利益を読み取る。	○	○	○★ ミツアナグマとミツオシエが、共生することのそれぞれの利益を読み取り、Q&Aカードにまとめている。 【論理的思考力・判断力・表現力】(カード・児童観察)
第三次	8	まとめ・創造・表現 ・ 共生している生き物について調べたことをQ&Aカードにまとめる。	○	○	○★ 自分で調べた共生する生き物のそれぞれの利益をQ&Aカードにまとめている。 【論理的思考力・判断力・表現力】(カード・児童観察)
	9	・ Q&Aカードを友達と交流する。	○	○	○ 新しく知ったことや不思議に思ったこと等について感想をもとうとしている。(児童観察)
	10	振り返り ・ 「原っ子マイスターカード」の「論理的思考力・判断力・表現力」の視点により振り返りを書く。	○	○	○ 国語科の「読むこと」について身に付いた力を振り返り、今後生かそうとしている。(振り返り)
単元後		実行 (学級活動) ・ 「生き物助け合いQ&Aカード」を校内に掲示し、紹介する。			生き物も人間と同じように助け合って生きていることが分かるようなQ&Aカードができた。 原小学校のみんなにも紹介し、感想を聞いてみたいな。 もっと他の生き物助け合いQ&Aカードを作ってみよう。

4 本時の展開 (本時 3/10)

(1) 本時の目標

○★ ヤドカリとイソギンチャクの利益が書かれている段落をとらえることができる。

【国語科/読むこと エ】【資質・能力/論理的思考力・判断力・表現力】

(2) 本時の展開

	学習活動	◇指導上の留意点 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への手立て	評価規準 (評価方法) ○教科の指導事項 ★資質・能力
課題の設定	1 本時のめあてを確認する。	◇ 単元のゴールを確認し、何のために本時の学習をするのか、目的意識をもって学習に取り組めるようにする。	
	「Q&Aカード」を作るために、必要な段落を見つけよう。		
情報の収集	2 「ヤドカリとイソギンチャク」の助け合いに関わる段落をとらえる。	◇ 前時で見付けたQからヤドカリとイソギンチャクの利益に関係するQを選ばせる。 ※Q…問いの文	Qの段落は、②、⑦、⑩の三つだね。どの段落が、助け合いに関わっているのかな。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤドカリのQ→段落② (なぜ、ヤドカリは、いくつものイソギンチャクを貝がらにつけることができるのでしょうか。) ・イソギンチャクのQ→段落⑩ (では、イソギンチャクは、ヤドカリの貝がらにつくことで、何か利益はあるのでしょうか。) 	◇ Qに対するA (ヤドカリにとっての利益とイソギンチャクにとっての利益)を見付けさせ、サイドラインを引かせる。 ※A…答え ◇ イソギンチャクのQに対するAからおさえる。 ◆ イソギンチャクがヤドカリにつくことでどんな利益があるのか、という視点を与えて考えさせる。	ヤドカリの利益が問われている段落はどこかな。
整理・分析		◇ Qに対するA (ヤドカリにとっての利益とイソギンチャクにとっての利益)を見付けさせ、サイドラインを引かせる。 ※A…答え ◇ イソギンチャクのQに対するAからおさえる。 ◆ イソギンチャクがヤドカリにつくことでどんな利益があるのか、という視点を与えて考えさせる。	イソギンチャクのQに、「利益」という言葉が入っているから、⑩段落はイソギンチャクの利益が問われているね。
		イソギンチャクのQに対するA (⑩段落) ・ヤドカリについていれば、いろいろな場所に移動することができるので、その結果、えさをとる機会がふえる。 ・ヤドカリについていると、ヤドカリの食べ残しをもらうこともできる。	
まとめ	3 ヤドカリのQに対するAについて交流する。 (1) 個人活動 (2) ペア活動 (3) 全体交流	◇ Qに対するAが、どの段落に書かれているのか考えさせる。 ◇ 「次のような実験」「まず」「次に」に着目させ、③～⑤段落に書かれている内容を考えさせる。 ◆ ヤドカリがイソギンチャクをつけていることでどんな利益があるのか、という視点を与えて考えさせる。	ヤドカリのQに対するAはどの段落に書かれているのかな。
			段落③に「次のような実験をしました」と書いてあるから、段落4からは実験の説明をしているよ。
振り返り	4 本時のまとめをする。 【まとめの例】	◇ 「Q&Aカード」を作るために必要な段落をまとめさせる。	○★ 共生、「問い」と「答え」という視点から、ヤドカリとイソギンチャクの助け合い(利益)に関わる段落を見付けている。 (カード・児童観察)
	5 本時を振り返り、次時につなげる。 【振り返りの例】	◇ 「次時への見通し」、「本時の活動を通してわかったこと」、という視点で振り返らせる。	
	わたしは、「Q&Aカード」に必要なヤドカリとイソギンチャクの利益が書かれている段落を見付けることができました。次の時間に、今日見付けた段落を使って、ヤドカリとイソギンチャクの助け合いQ&Aカードにまとめていきたいです。		

5 板書計画

振り返し

まとめ

「ヤドカリと
イソギンチャク」の本文

めあて

論理的表現力

「Q&Aカード」に必要な段落
ヤドカリ↓②・⑥
イソギンチャク↓⑩・⑪

○必要な段落を見付けるコツ
・助け合い（お互いの利益）
・「問い」と「答え」

「Q&Aカード」を作るために、
必要な段落を見つけよう。

共生

生き物助け合いQ&Aカード
〜共生している生き物について、
原つ子に紹介しよう〜

6 資質・能力ルーブリック

論理的思考力・ 判断力・表現力	判断基準
A	共生, 「問い」と「答え」という視点から, 「Q&Aカード」に必要なヤドカリとイソギンチャクの助け合い (利益) に関わる段落を見付け, それぞれの利益を書いている。
B	共生, 「問い」と「答え」という視点から, 「Q&Aカード」に必要なヤドカリとイソギンチャクの助け合い (利益) に関わる段落を見付けている。